



# 糸満市

糸満市企画開発部秘書広報課

## 平成29年度糸満市平和ガイド育成事業 長崎研修



糸満市では、戦争体験者が高齢化により年々少なくなる中、沖縄戦体験者の記憶と思いを後世に伝えるため、市内の児童・生徒を対象に、糸満市平和ガイド育成研修を実施しています。他の地域の若い世代がどのように継承に参加しているか見学し、今後の学習や市内での活動の参考とするため、研修2年目の第2課程16名を、長崎青少年ピースフォーラムへ派遣しました。

主催：糸満市（事務局：企画開発部 秘書広報課）  
（電話）098-840-8118  
（メール）heiwa@city.itoman.lg.jp



### 糸満市平和ガイド育成事業 第2課程 事前研修

#### 座学「長崎での原爆被害について」

平成29年7月15日（土）糸満市役所会議室で開催

沖縄県内で被爆者を取材してきた記者を講師に招き、長崎に投下された原爆についての基礎知識や、沖縄県内の被爆者の戦後の歩みについて学びました。生徒たちからは「なぜ1発の原爆でこんなに大きな被害が出たのか」「なぜ爆風の速度が分かるのか」等の質問が出ていました。



事前研修の様子



### 青少年ピースフォーラムへ参加しました！！ ～派遣後の平和学習～

ボランティアガイド研修：平成29年8月～平成30年1月 糸満市内にて実施

講師：沖縄戦体験者、糸満市観光協会観光ガイドの会等

・地域にある戦跡等について、自分の言葉で説明できるようになることを目標に、ボランティアガイド研修を行いました。

糸満市内で沖縄戦を体験した方の講話を聴いた後、ピースボランティアのような同世代に伝わるガイドを目指し、市内の戦跡等を案内する練習や説明用の資料作りをしました。研修最終回では、派遣者を含む研修生がガイドとなって、家族や学校関係者を案内しました。

（派遣者の感想1）広島、長崎の原爆のことや、沖縄戦などが風化しないように、体験者から実際にきいた当時の状況を正確に伝えていきたい。

（派遣者の感想2）深堀さんが「何の感情もなかった」とおっしゃっていたので、（長崎の体験者も）沖縄戦体験者と同じだったのかなと思う。

（派遣者の感想3）しっかりと話を語り継いで、次の世代につないでいきたい。



ピースボランティアとの  
平和学習



### その後の平和活動の広まり ～派遣者が参加した平和イベント等～

#### 第22回糸満市平和祈念祭

平成29年6月17日（土）沖縄県平和資料館ホールにて開催

・昨年度までの派遣者を中心に、糸満市平和ガイド育成研修に参加している生徒たちが、司会や会場スタッフ、舞台発表者として朗読会に協力しました。

#### 平成29年度糸満市平和都市友好交流事業（糸満市内での平和学習）

平成29年7月26日（水）糸満市内の戦跡や沖縄戦関連施設で実施

・友好都市交流団の平和学習で、今年度及び昨年度の派遣者が、市内の戦跡のガイドを担当しました。

#### 第19回いとまんピースフルイルミネーション点灯式での「糸満市平和都市宣言」

平成29年12月16日（土）糸満市観光農園にて開催

・沖縄戦終焉の地糸満市から、「平和」への祈りをイルミネーションに託して世界へ発信するイベントの点灯式で、派遣者が「糸満市平和都市宣言」を読み上げました。



糸満市平和祈念祭



いとまんピースフル  
イルミネーション